

救急外来のMSW専任配置 による業務改善

～愛は地球を救う

M_{sw}ERは生活基盤の不安定な人を救う～



静岡県立総合病院 患者サポートセンター
グループ名：M_{sw}ER（エムイーアール）

患者サポートセンターとは



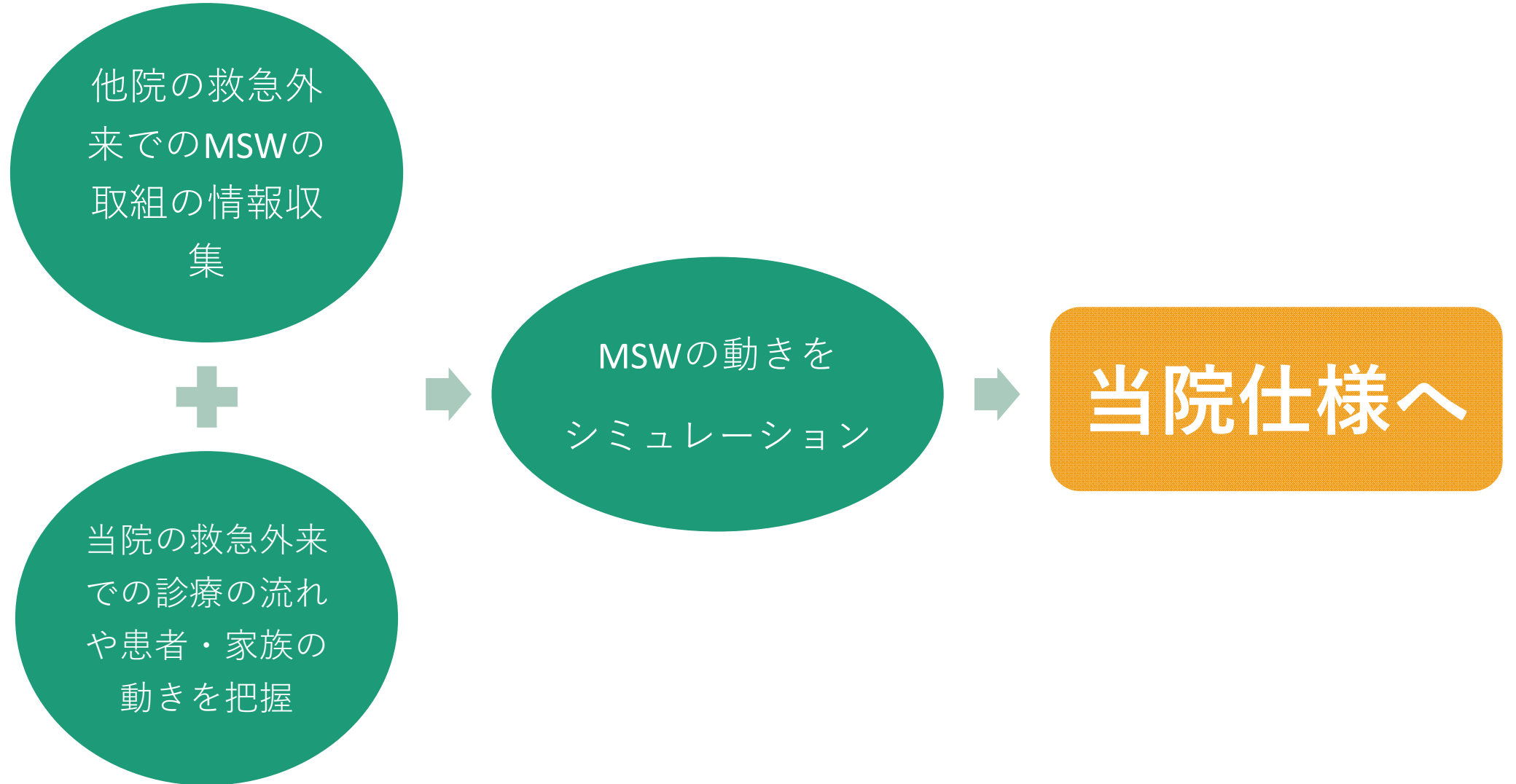
入院前問診から退院支援、病床管理業務、地域連携業務を担う院内の部署

MSWとは



保険医療機関において、社会福祉の立場から患者さんやその家族の方々の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る業務を行う者

取組に向けて



現状

- ▶ 令和4年度までは、救急外来のMSWは担当配置のみで、平日日勤帯に常時配置されておらず、救命救急センター充実段階評価の項目「転院・転棟を行う者の配置」において、令和4年は1点であった（全体評価は、S,A,B,Cの4段階のうちA評価）
- ▶ 退院支援介入患者の52%は緊急入院患者（令和4年度）
- ▶ 救急搬送された患者のうち、独居・高齢世帯・身寄り無しが多く、生活基盤の不安定さから必要な治療が遅れ、救急搬送となったケースが多い
- ▶ 社会的入院（当院の入院治療の必要性が無い）ケースがある
- ▶ 医療費支払い困難、無保険の患者支援が当日実施できず、患者・病院の不利益となっている

課題

- ▶救命救急センターに充実段階評価の項目において、S評価に向けた取組が必要
- ▶救急搬送された患者・家族に早期にMSWの介入が必要

取組内容

平日日勤帯にMSWを常時配置



問題がある患者家族を早期に把握して、支援介入を行った
(入院後支援、帰宅後支援、他院入院調整、経済困難支援 等)

結果

①救命救急センター充実段階評価への貢献

- 令和6年～2点に上がる見込みであり、S評価へ一歩近づけることができた

②患者・家族の不安軽減と退院支援早期介入

- 搬送前の生活・搬送に至った経緯を知ることによって、生活基盤の不安定さが明らかになった

③院内連携強化

- 早々に関係部署に情報提供が可能となった。入院前支援看護師と協働により、2重の聞き取りが避けられ、患者負担の軽減と時間の効率化に寄与した

④当院ベッドの有効利用

⑤地域連携強化

- 帰宅患者支援により、地域支援者（ケアマネ等）からは、その後の支援がスムーズに図れたとの声が聞かれた

⑥病院経営への貢献

- 経済困難者への早期支援を行い、医療費の未払い回避を図った

今後の展開

- ▶MSW専任配置による効果、生産性の見える化を図る
- ▶MSWの活躍を院内外にアピールしていく
- ▶患者の満足度が確認できる指標を作る

ご清聴、ありがとうございました

